

置賜地域の医療体制

平成27年11月26日

山形県置賜総合支庁

置賜地域の医療体制

【医療施設数】

- 平成 27 年 7 月 1 日現在、一般及び療養病床を有する医療施設数は、病院 13 施設、有床診療所 10 施設の計 23 施設となっている。
- 平成 27 年 7 月 1 日現在の病床数は、病院 2,083 床、診療所 99 床の計 2,182 床（一般：1,786、療養：396）となっている。

◆ 一般病床または療養病床を有する医療施設数

	米沢	長井	南陽	高畠	川西	小国	白鷹	飯豊	計
病院	5	2	1	1	2	1	1		13
診療所（有床）	5	2	3						10

◆ 一般病床・療養病床の内訳

	米沢	長井	南陽	高畠	川西	小国	白鷹	飯豊	計
病院病床数	1073	100	50	130	605	55	70		2083
(内訳)	(一般)	893	50	50	89	496	55	70	1703
	(療養)	180	50		41	109			380
有床診療所病床数	56	12	31						99
(内訳)	(一般)	40	12	31					83
	(療養)	16							16
一般病床計	933	62	81	89	496	55	70		1786
療養病床計	196	50		41	109				396
計	1129	112	81	130	605	55	70		2182

【医療従事者数】

- 平成 24 年 12 月 31 日現在の人口 10 万対医師数(176.4 人)は、県値(225.5 人)、全国値(237.8 人)を下回っている。
- 人口 10 万対歯科医師数(52.1 人)、同薬剤師数(146.3 人)、同看護師等数(看護師、保健師、助産師)(1113.5 人)も、県値(59.8 人、167.7 人、1251.0 人)、全国値(80.4 人、219.6 人、1139.4 人)を下回っている。

【医師、歯科医師、薬剤師：医師、歯科医師、薬剤師調査（H24）】

【看護師：業務従事者届（H24）】

	医師（人口 10 万対）	歯科医師（人口 10 万対）	薬剤師（人口 10 万対）	看護師等（人口 10 万対）
置 賜	176.4	52.1	146.3	1113.5
山形県	225.5	59.8	167.7	1251.0
全 国	237.8	80.4	219.6	1139.4

【地域の医療提供体制】

新生物（悪性新生物）、循環器系の疾患（脳血管疾患）の入院患者数が多い状況のなかで、後期高齢者の増加に伴い、肺炎や骨折による入院患者が増加する傾向にある。

(1) がん

- DPC 病院におけるがん患者総数は、平成 23 年 3,123 人、24 年 2,898 人、25 年 2,890 人、がん手術患者数は、平成 23 年 939 人、24 年 861 人、25 年 993 人となっている。
- 地域における自己完結率（平成 25 年度ナショナルデータ）は、一定数を村山地域に依存し、86.9%となっている。部位別で見ると、胃がん、大腸がん、直腸がん、肝がんは地域完結しているが、肺がん、乳がんは一定数を村山地域に依存している。また、治療法別でも、化学療法（入院・外来）、放射線治療（入院・外来）とも一定数を村山地域に依存している。
- 地域がん診療連携拠点病院として専門的ながん診療を行う公立置賜総合病院を中心に、米沢市立病院、三友堂病院と連携した標準的ながん診療が、そして地域の病院と連携した在宅療養支援が行われている。また、三友堂病院に緩和ケア病床がある。
- なお、高度で専門的な治療は、山形大学医学部附属病院、県がん診療連携拠点病院である県立中央病院が担っている。

(2) 脳卒中

- DPC病院における神経系疾患の患者総数は、平成23年1,225人、24年1,106人、25年978人、その救急患者数は、平成23年492人、24年446人、25年442人と減少傾向にある。
- 地域における自己完結率は96.2%と地域完結している。
- 来院後1時間以内に開始する専門的治療を行う救急医療の機能を公立置賜総合病院、米沢市立病院、三友堂病院が担い、地域の病院において、身体機能を回復させるリハビリテーションや日常生活への復帰及び維持のためのリハビリテーションを行う回復期・維持期の機能を担っている。

(3) 心筋梗塞

- DPC病院における循環器系疾患の患者総数は、平成23年4,821人、24年4,818人、25年5,006人、循環器系疾患の救急患者数は、平成23年222人、24年276人、25年308人と増加傾向にある。
- 地域における自己完結率は95.9%と地域完結している。
- 来院後30分以内に開始する専門的治療を行う救急医療の機能を公立置賜総合病院、米沢市立病院、三友堂病院が担い、地域の病院において、身体機能を回復させる心臓リハビリテーションや再発予防を行う回復期・再発予防の機能を担っている。

(4) 救急医療

- 救急搬送件数は、7,876件、覚知から収容するまでの平均は40.2分となっている。(平成24年度 消防庁データ)
- DPC病院における救急患者総数は、平成23年2,175人、24年2,190人、25年2,305人と年々増加傾向にある。
- 初期救急医療は主に米沢市平日夜間・休日診療所、長井西置賜休日診療所、南陽東置賜休日診療所、二次救急医療は救急告示医療機関が連携し提供している。なお、公立置賜総合病院において、診療所医師が平日夜間の初期救急患者の診療を実施している。
(救急告示医療機関7施設) → 米沢市立病院、三友堂病院、舟山病院、白鷹町立病院、公立置賜総合病院、公立高畠病院、小国町立病院
- 米沢市立病院、三友堂病院、舟山病院の3病院において、休日昼間及び夜間の輪番制を実施している。
- 公立置賜総合病院救命救急センターにおいて三次救急医療を行うが、一部の重篤な患者に対する救急医療は、県立中央病院、山形大学医学部附属病院と連携し対応している。

(5) 周産期医療

- 分娩を扱う医療機関は、平成27年10月現在 2病院68床、3診療所40床、計5施設108床となっている。
- 平成25年分娩数は1,631件。常勤産科医師は12名となっており、1人当たり分娩数は135.9件と、県平均111件を上回っている。
- 米沢市立病院、公立置賜総合病院は、二次周産期医療機関として比較的高度な医療に対応しており、リスクの高い分娩等については、村山地域の三次周産期医療機関へ転院・搬送を行っている。
- ハイリスク分娩時等における情報共有を図る「山形県周産期医療情報ネットワーク」が整備され、平成24年10月から運用を開始している。

(6) 小児医療

- 地域における自己完結率は、一定数を村山地域に依存し、76.8%となっている。
- 「平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査(H24.12時点調査)」では、小児科医21人となっており、15歳未満人口10万対の小児科医は75.2人(県全体97.2人の77.4%)である。
- 小児救急医療については、夜間休日における初期救急医療は、米沢市平日夜間・休日診療所が担い、二次救急医療は、オンコール体制を持つ救急告示病院(米沢市立病院及び公立置賜総合病院)が担っている。

【地域医療連携】

- 平成23年6月に、地域の基幹病院等の検査画像等を医療機関が閲覧できる情報ネットワーク(「OKINET」)が稼働し、病病連携、病診連携、紹介・逆紹介の推進に寄与している。〔参加医療機関数86施設〕
- がん(肺、胃、肝臓、大腸、乳)、脳卒中、大腿骨頸部骨折、心筋梗

塞、急性心筋梗塞、糖尿病、ALS、重症心筋梗塞において地域連携クリティカルパスが運用されている。

置賜地域における病院の状況（平成27年11月1日現在）



No.	病 院 名	病床数(()内内数)
①	公立置賜総合病院 ●◆ □	520(精神20、感染4)
②	米沢市立病院 ●◆ □	419(精神70)
③	公立高畠病院 ◆▲	130(療養41)
④	小国町立病院 ◆	55
⑤	白鷹町立病院 ◆	70
⑥	三友堂病院 ◆	190
⑦	医療法人舟山病院 ◆▲	194(療養60)
⑧	独立行政法人国立病院機構米沢病院	220
⑨	公立置賜長井病院 □	110(精神60)
⑩	公立置賜南陽病院	50
⑪	三友堂リハビリテーションセンター ▲	120(療養120)
⑫	川西湖山病院 ▲	109(療養109)
⑬	佐藤病院 □	222(精神222)
⑭	吉川記念病院 ▲□	200(精神150、療養50)

(注) ●中核病院 ◆救急告示病院
▲療養病床を有する病院 □精神病床を有する病院